
人口動態等から見る熊本の変化

株式会社JR熊本シティ
代表取締役社長執行役員 永田 史朗

年表

主な出来事										
	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
				2月 コロナ第1号	7月 令和2年7月豪雨 8月 豊肥本線復旧 10月 国道57号線復旧 12月 コロナ第3波	3月 新阿蘇大橋開通	12月 コロナ第8波	5月 コロナ五類移行		
TSMCの動き										
	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
						11月 TSMC進出發表	4月 第一工場着工	2月 第一工場完成	12月 第一工場量産開始 3月 第二工場着工延期	12月 第二工場着工予定
※全て年度（4月～3月）表記										

熊本県内人口

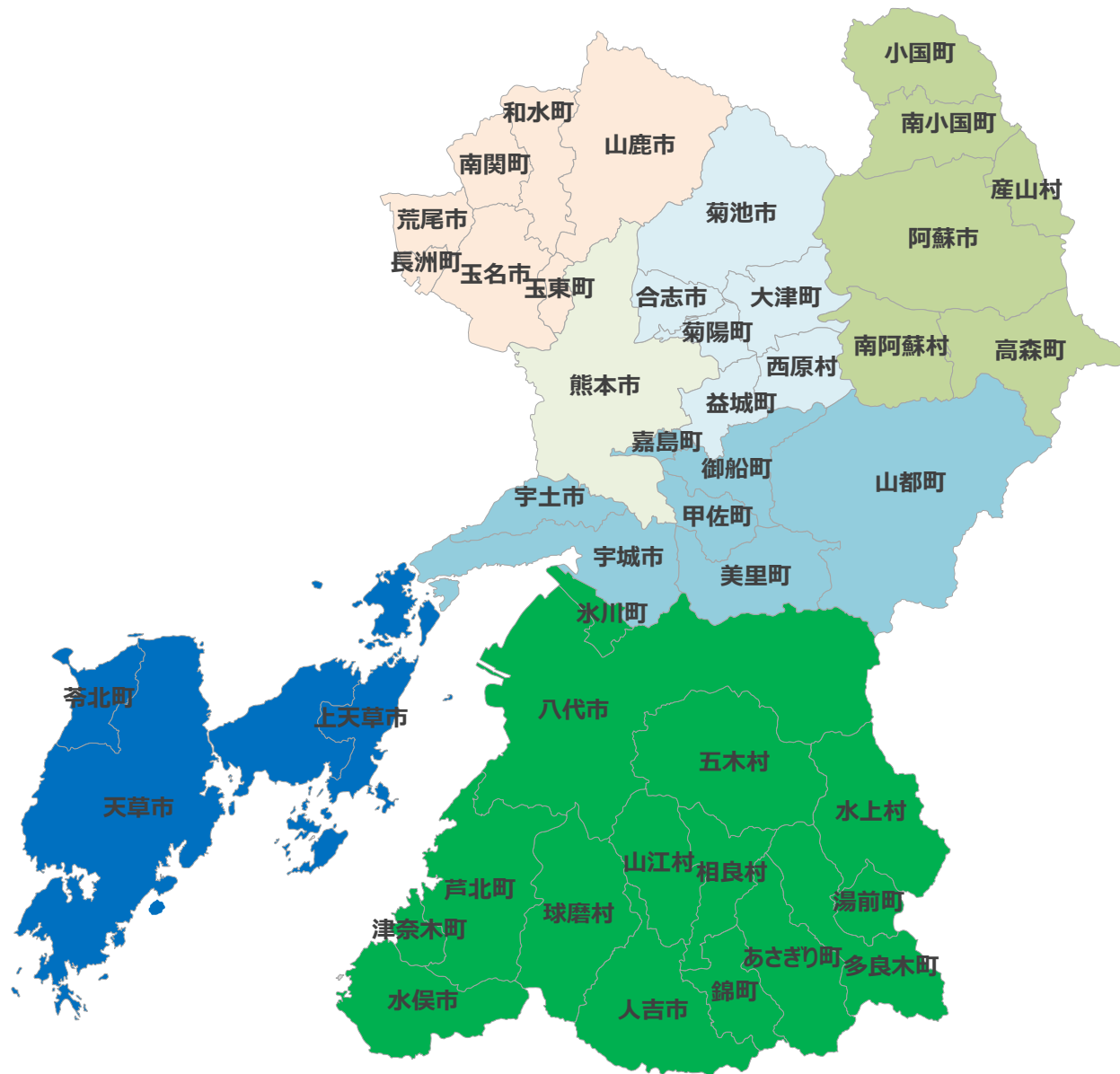
(千人)

	2020初	2025初	増減計
熊本県人口	1,770	1,716	▲54
うち日本人数	1,752	1,687	▲65
うち外国人数	18	29	11

- ・日本人は170万人を切る。熊本県発表では、外国人含む人口でも既に170万人を切っている。
- ・外国人は、人口全体に対する比率は小さいが、増減においては相当の率で日本人の減を補完。

出典：総務省統計より

熊本県地図



日本人エリア別

(千人)

	2020初	主要増減		2025初	増減計	増減率
		社会増減	自然増減			
熊本県	1,752	▲ 9	▲ 58	1,687	▲ 65	-3.7%
熊本市域	953	7	▲ 13	949	▲ 4	-0.5%
県北	208	▲ 4	▲ 10	194	▲ 14	-6.8%
阿蘇	54	▲ 1	▲ 3	50	▲ 4	-8.2%
県央	156		▲ 7	149	▲ 7	-4.5%
県南	267	▲ 8	▲ 15	244	▲ 23	-8.4%
天草	113	▲ 4	▲ 8	101	▲ 12	-10.8%

- ・人口減については自然増減（出生数＜死亡数）の影響大。
- ・転入超過は熊本市とその周辺に限られる。

日本人（熊本市域）

（人）

	2020初	主要増減		2025初	増減計	増減率
		社会増減	自然増減			
熊本市	727,066	3,727	▲ 11,058	720,714	▲ 6,352	-0.9%
中央区	174,851	324	▲ 2,909	172,635	▲ 2,216	-1.3%
東区	189,228	515	▲ 1,169	188,791	▲ 437	-0.2%
西区	89,802	2,138	▲ 2,974	89,054	▲ 748	-0.8%
南区	131,083	2,400	▲ 1,112	132,505	1,422	1.1%
北区	142,102	▲ 1,650	▲ 2,894	137,729	▲ 4,373	-3.1%
T S M C圏	226,381	4,027	▲ 2,306	228,383	2,002	0.9%
菊池市	47,869	▲ 692	▲ 2,067	45,164	▲ 2,705	-5.7%
合志市	62,325	2,155	▲ 123	64,442	2,117	3.4%
大津町	34,740	474	▲ 2	35,284	544	1.6%
菊陽町	41,847	282	554	42,729	882	2.1%
西原村	6,668	433	▲ 236	6,879	211	3.2%
益城町	32,932	1,375	▲ 432	33,885	953	2.9%

- ・熊本市・・・北区を除き、転入超過。中央区・東区＜西区・南区。南区のみ人口増
- ・TSMC圏・・・菊池市を除き主に転入超過により人口増。菊陽町は県内唯一自然増

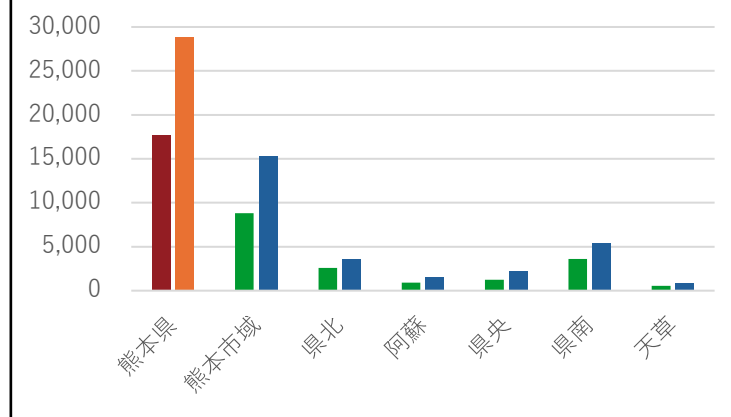
外国人エリア別

外国人エリア別

(人)

	2020初	2025初	増減計	増減率
熊本県	17,665	28,883	11,218	63.5%
熊本市域	8,800	15,278	6,478	73.6%
県北	2,601	3,603	1,002	38.5%
阿蘇	898	1,508	610	67.9%
県央	1,238	2,211	973	78.6%
県南	3,594	5,378	1,784	49.6%
天草	534	905	371	69.5%

外国人エリア別人口推移



- ・熊本市域で全体の約6割。
- ・その他の地域でも、絶対数は少ないものの増減率で見るとほぼ満遍なく増。

外国人国別ベスト10

外国人国別ベスト10

(人)

順位	国名	2019末	順位		国名	2024末	増減率
1	ベトナム	6,178	1	→	ベトナム	7,038	13.9%
2	中国	3,865	2	→	フィリピン	4,091	53.7%
3	フィリピン	2,661	3	→	インドネシア	3,628	425.8%
4	韓国	1,041	4	→	中国	3,444	▲10.9%
5	インドネシア	690	5	→	ミャンマー	2,077	590.0%
6	カンボジア	498	6	→	台湾	1,919	550.5%
7	オーストラリア	424	7	→	オーストラリア	1,726	307.0%
8	アメリカ	367	8	→	カンボジア	1,578	216.9%
9	タイ	347	9	→	韓国	1,045	0.4%
10	ミャンマー	301	10	→	タイ	460	32.6%

・アメリカに替わり、台湾がベスト10入り

・特に東南アジアの増が顕著。台湾もそれに匹敵。

出典：出入国在留管理庁統計より

外国人国別エリア別

外国人国別エリア別（2024末）（人）

	台湾	中国	ハトナム	インドネシア
熊本県	1,918	3,433	7,035	3,627
熊本市域	1,848	2,651	3,192	1,406
県北	10	178	1,173	613
阿蘇	35	89	320	209
県央	6	140	716	417
県南	17	324	1,382	815
天草	2	51	252	167

- ・東アジアは熊本市域中心。台湾は9割方。
- ・東南アジアは熊本市域は4割程度で、その他域にも相当数在留。

日本人と外国人の社会増減

日本人と外国人の社会増減 (人)

	日本人	外国人	カバー率
玉名市	▲1,368	529	38.7%
阿蘇市	▲512	411	80.3%
宇城市	▲469	532	113.4%
八代市	▲2,105	2,244	106.6%
天草市	▲2,513	322	12.8%

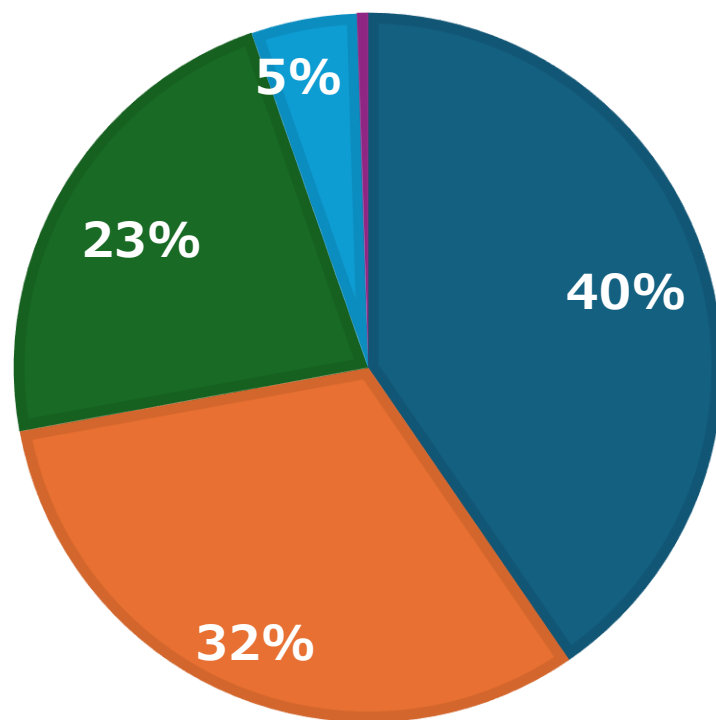
台湾人熊本市

台湾人熊本市 (人)

	2024末
熊本市	1,012
中央区	409
北区	321
東区	228
西区	49
南区	5

台湾人熊本市域

■ 中央区 ■ 北区 ■ 東区 ■ 西区 ■ 南区



- ・熊本市の全体シェアは53%。
- ・中央区が最多。中央区・東区・北区で95%を占める。

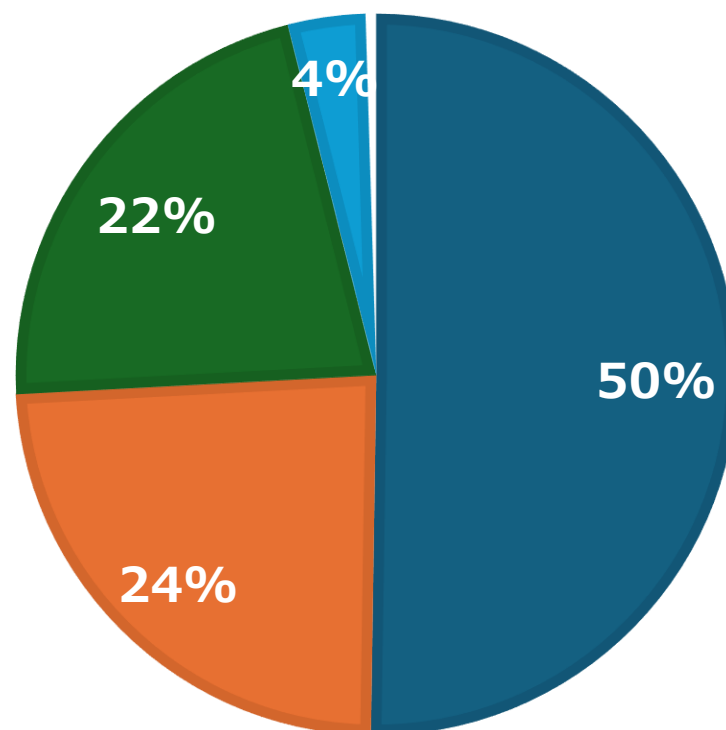
台湾人TSMC圏

台湾人TSMC圏 (人)

	2024末
T S M C 圏	836
菊池市	29
合志市	183
大津町	200
菊陽町	420
西原村	2
益城町	2

台湾人TSMC圏

■ 菊陽町 ■ 大津町 ■ 合志市 ■ 菊池市 ■ 西原村 ■ 益城町

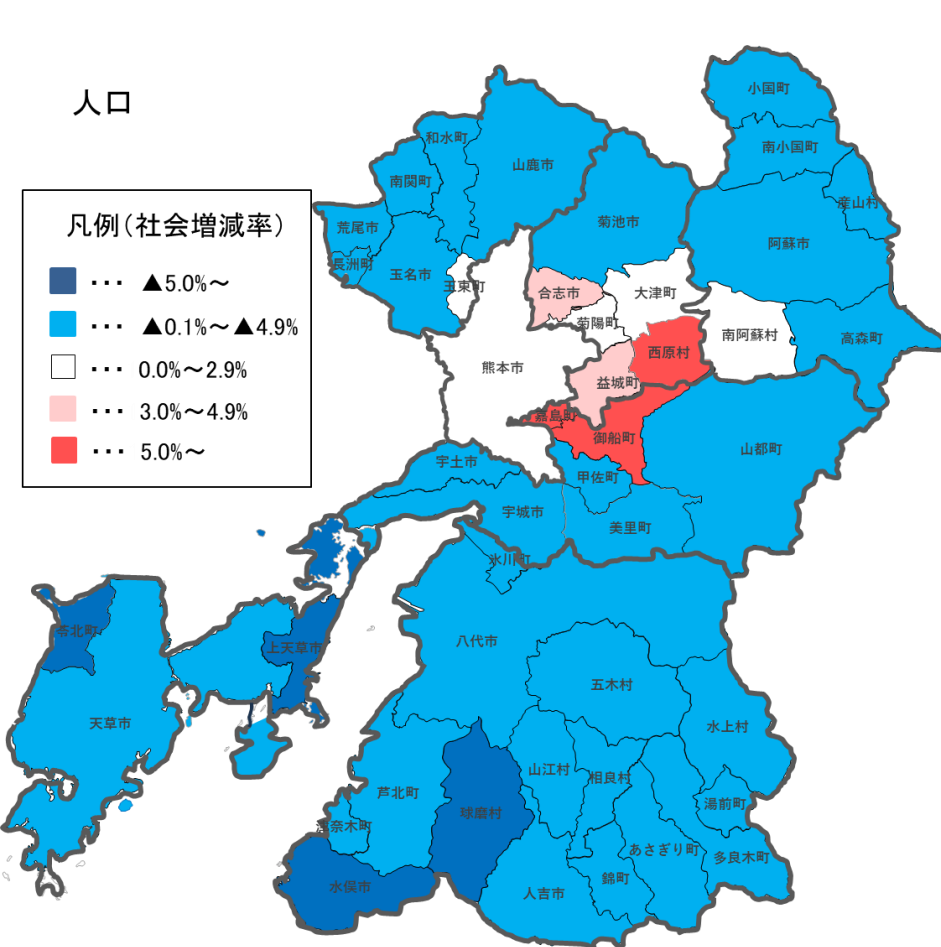
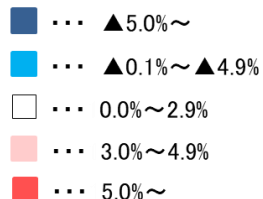


・菊陽町が最多。合志市、大津町、菊陽町で96%を占める。

人口と住民税の状況

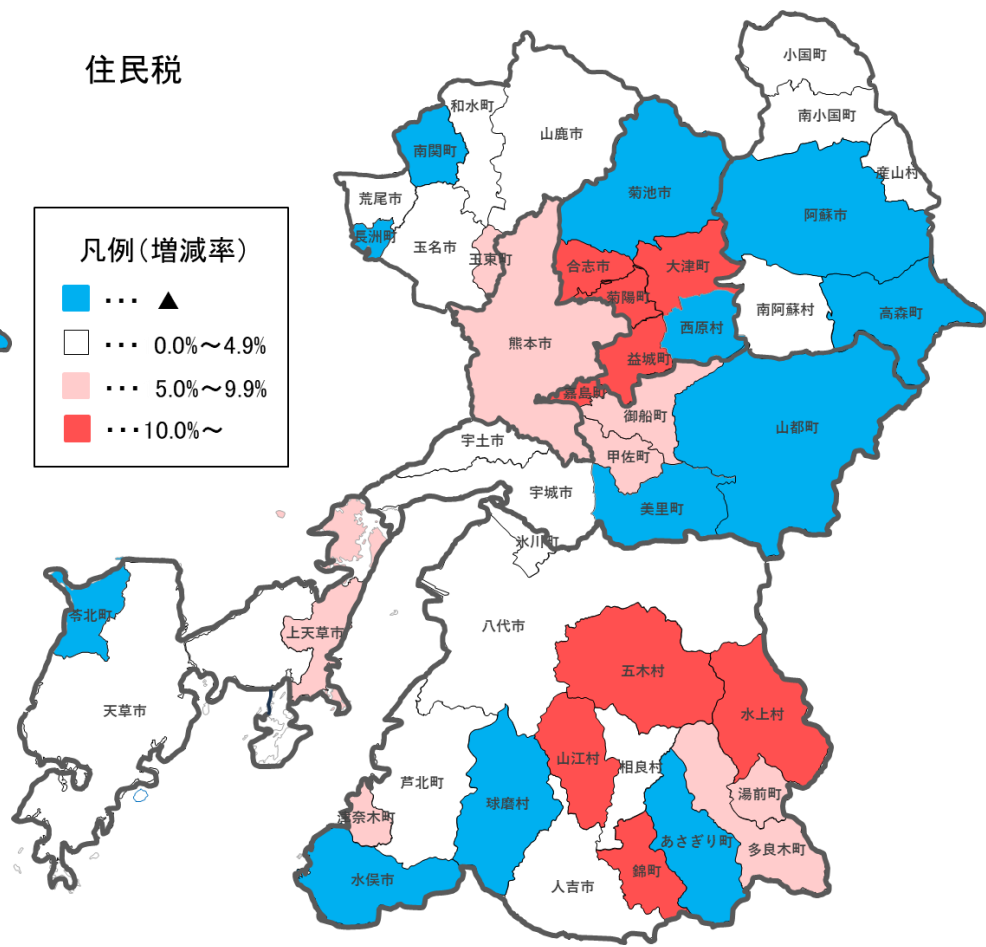
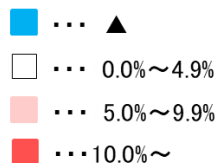
人口

凡例(社会増減率)



住民税

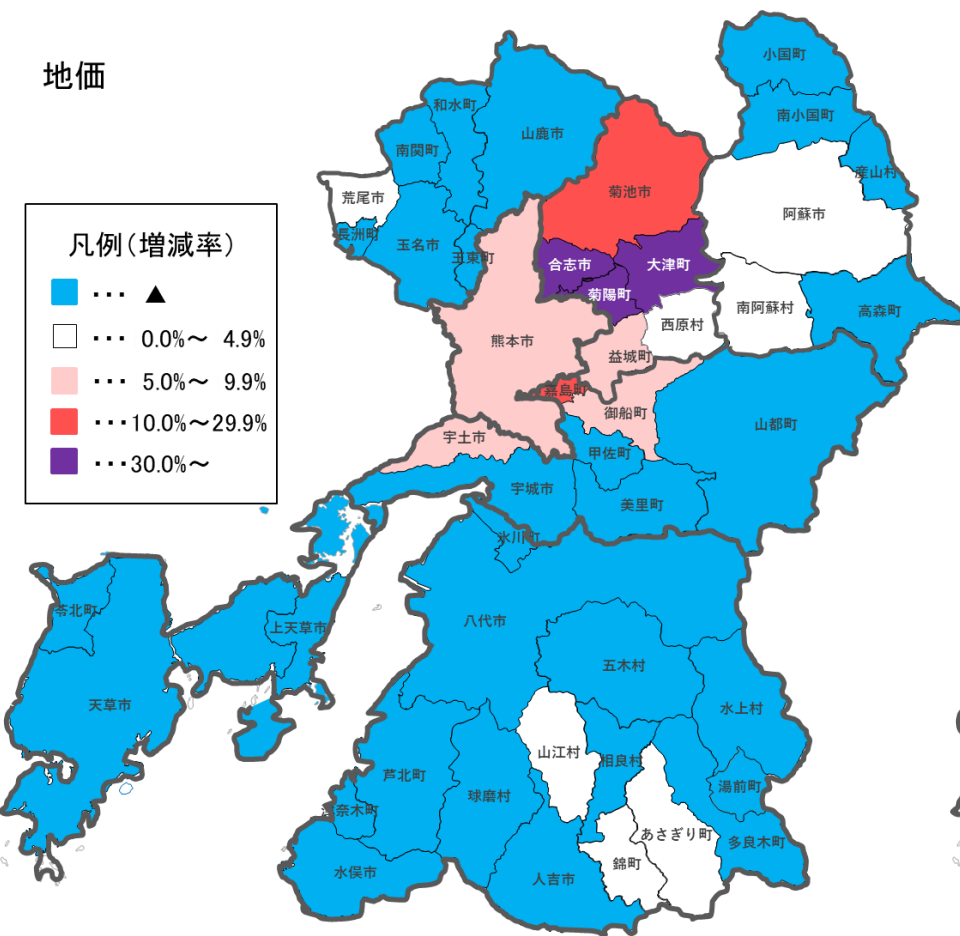
凡例(増減率)



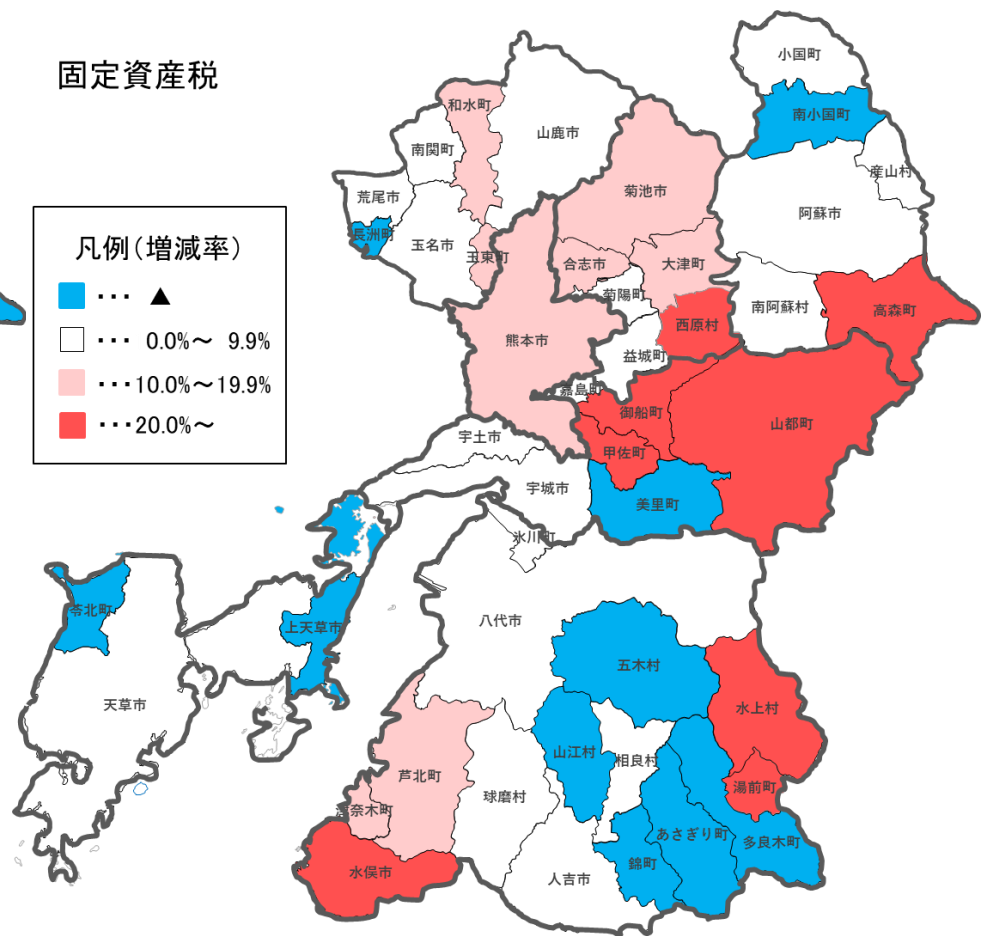
※2019年と2024年を比較した場合の増減率

地価と固定資産税の状況

地価



固定資産税



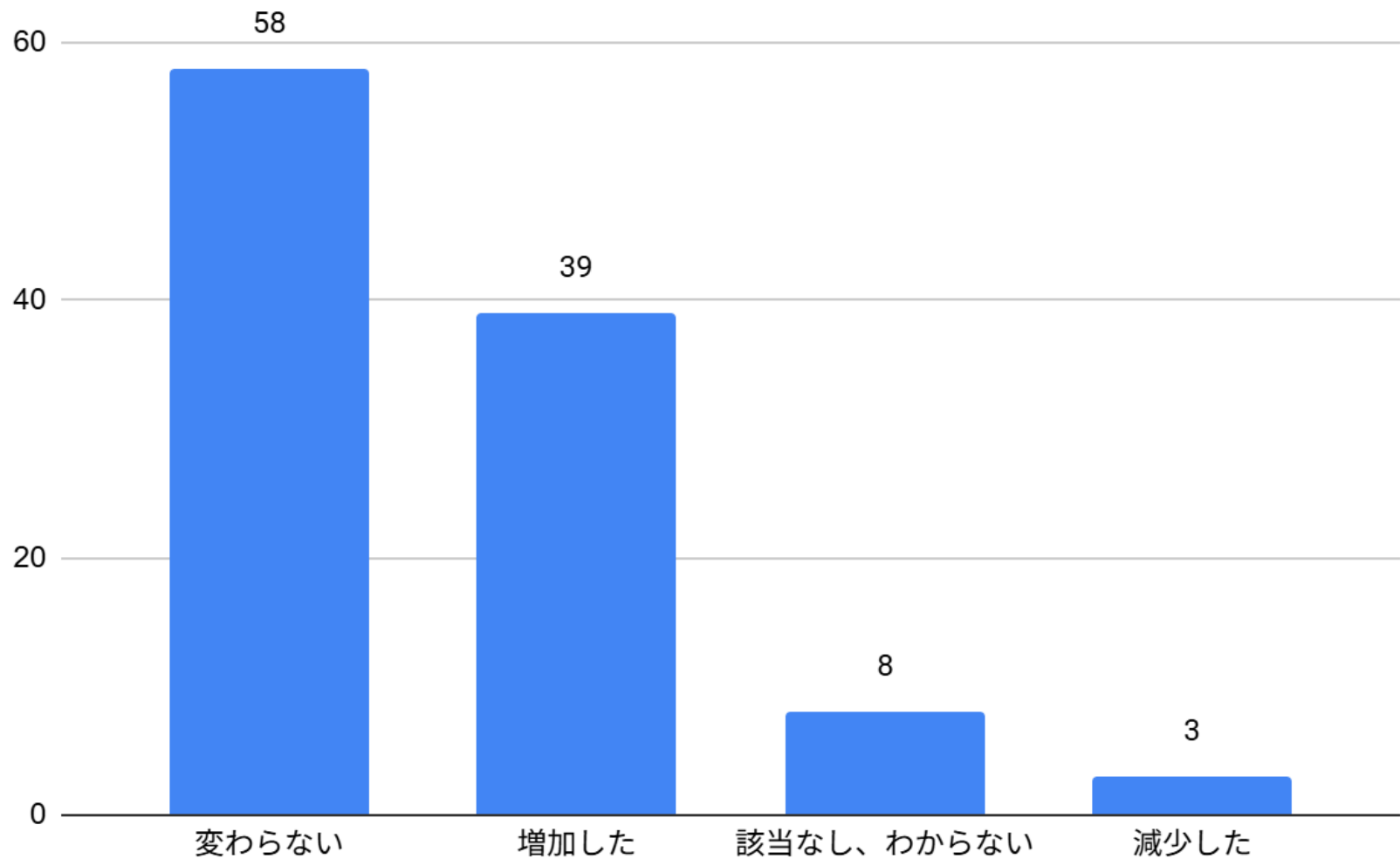
※地価は2019年と2024年を比較した場合の増減率
固定資産税は2023年との比較

熊本の現状「定性面」

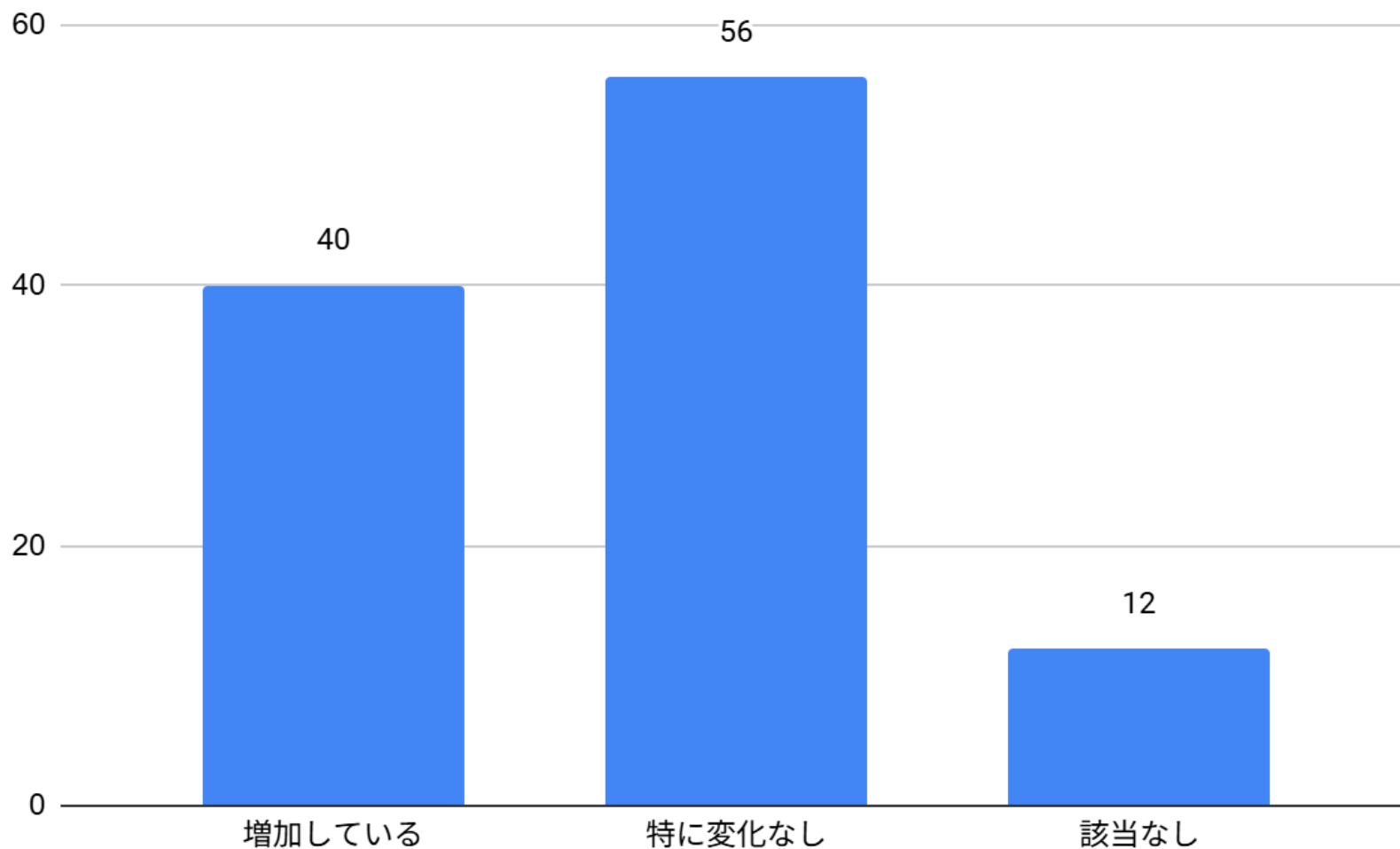
TSMC熊本進出による影響分析 調査概要（抜粋）

- 1 調査時期 8月1日～8月29日
- 2 調査対象 熊本経済同友会 会員企業
- 3 調査方法 グーグルフォーム
- 4 回答数 108 社

(1) TSMC熊本進出後、貴社の売上に変化はありましたか？



(2) TSMC進出以降、新たな取引先(顧客・仕入先・協力会社など)との
関係構築はありましたか？



(3) 今後の設備投資・事業拡大の意向・労働環境整備について

